# 第４次 山形村 環境基本計画

## 2020 環境川柳　ありがとうございました。

2020 年秋、環境にまつわる様々な思いをお題にした川柳の投句を呼び掛けたところ、村内外から多くの作品を寄せていただきました。心から感謝申し上げます。その作品の 数々を本計画のところどころで紹介します。なお、作者はペンネームで（本名の方もい らっしゃいます）ご紹介していますので申し添えます。

## “ずく”って何？

ずく＝信州の代表的な方言。面倒くさがらず、こまめに動こうとする気力。
やる気を出して、根気よく取り組む心持ち。

# 目　次


第1章　基本的事項 …… 1
「環境」っていったい何だろう？ …… 1
計画の期間と位置づけ …… 2

第２章　山形村の現状 …… 3
１.村の自然地理＝自然環境 …… 3
２.暮らしの周辺＝生活環境 …… 7

第３章　環境保全施策の展開 …… 10
Ⅰ.自然環境の保護 …… 12
健全で美しい里山の整備と維持 …… 12
水環境の保全 …… 12
生態系保護への意識の高揚 …… 12
Ⅱ.生活環境の向上 …… 13
ごみの減量と資源化の推進 …… 13
ポイ捨て、不法投棄の撲滅 …… 13
住環境の衛生管理、まち並み景観の美化 …… 14
一般廃棄物最終処分場サンクスBBの延命化 …… 14
Ⅲ.基幹産業「農」の姿 …… 15
優良農地の保全 …… 15
農地の荒廃化防止と再生 …… 16
農薬、農業資材の適正使用と適正処分 …… 16
Ⅳ.地球温暖化対策 …… 17
脱炭素社会実現への挑戦 …… 17
住宅用太陽光発電設備の更なる普及促進 …… 18
エコカーの普及促進 …… 18
家庭照明器具のLED化 …… 18
Ⅴ.環境保全を学ぶ、考える …… 19
幅広い世代の環境保全学習 …… 19
やまがた環境チャレンジカレンダー …… 20

第４章　山形村地球温暖化対策実行計画 …… 22
１. 基本的事項 …… 22
２.$CO_2$排出の現状 …… 24
３.$CO_2$の削減目標 …… 25
４.ずくを惜しまない取り組み …… 26

# 第１章　基本的事項

## 「環境（かんきょう）」っていったい何だろう？

わたしたちが日ごろよく耳にする「環境」という言葉には、いろいろな意味や使われ方があります。

**ひとつ目は、**

あらゆる生物の命の営みを支える自然の空間…

- 地球環境
- 自然環境

**ふたつ目は、**

まわりを取り巻く、その時点の状況…

- 家庭環境
- 職場環境
- 教育環境

**みっつ目は、**

あるものに影響を与える条件や状態…

- 腸内環境
- パソコンの動作環境

この計画では、このうちのひとつ目とふたつ目、動物や植物その他いろいろな生物が生きるうえでの土台であり、背景でもある水や空気、空、海、大地によって成り立つ、グローバル（地球的で大規模）な意味での「環境」と、自分の暮らしや行動、身体や心の状態などに影響を及ぼす、ごく身近な空間のありさまを意味する、生活の「環境」をテーマに取り上げます。

# 計画の期間と位置づけ

山形村では村づくりの重要な方針を、向こう10年間の「基本構想」にまとめ、それをもとに前後期各5年間の「基本計画」を策定して、それぞれの施策を展開しています。これらを総称して総合計画と呼び、現在の第5次山形村総合計画は2022年度（令和4年度）にその計画期間を終了します。

一方、山形村環境基本計画は5年を1期間として第3次まで策定されました。この第4次計画は、村の第6次総合計画のスタート時期を見据えて、2021年度～2023年度（令和3年度～5年度）まで3年間の短期計画とし、本来の姿である「環境施策の大綱」という役割に代えて、この間に取り組む活動を分野ごとに絞り込み、その実施を具体的に進める計画としてスタートすることといたします。

併せて、長野県の第4次環境基本計画や県条例に基づくゼロカーボン施策とも有機的な連携・連動を図って、市町村の枠を超えた広域的な環境保全事業に積極的に参加していきます。

### 山形村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

この計画には、法律で市町村が策定することを定めている「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を内包します。役場庁舎やトレーニングセンター等の公共施設の維持管理のほか、行政事務事業全般にわたって温室効果ガス、とりわけ二酸化炭素（$CO_2$）の排出削減に取り組むための基本的な方針を示します。

# 第2章 山形村の現状

## 1. 村の自然地理＝自然環境

### 山

山形村の総面積は長野県内の「村」の中では最も小さい2,498ヘクタール。そのうちの約半分、51パーセントに当たる1,276ヘクタールが森林（山）になります。総面積に対する森林面積の割合は、本県の他の自治体との比較ではかなり低い方になりますので、信州一小さな村、山形村にとってこれらの山々は、自然の象徴として非常に貴重な存在であるということが言えます。

**地形の特徴**　**～山地と集落が隣り合わせ～**

梓川と鎖川の大きな扇状地に挟まれた狭小な土地に、上から見るとL字型に山地がせり出しています。そこにいくつもの尾根と沢筋がもみ合うように並んでいるため、緩やかな山麓地形はなく、急しゅん（地面の傾斜が急なこと）な里山が平地の集落部や圃場整備された優良農地地帯に迫っているのが山形村の地形の特徴です。

本村の山は木材の利用を目的に植樹された人工林が多く、アカマツやカラマツなどの針葉樹は既に伐採すべき時期（伐期）を迎えています。しかし、木材需要が激減した今日では、適期伐採ができずそのまま放置された状態が続いています。

昔はどこの家でも田畑の堆肥や焚き付けなどに使う落ち葉、下草、小枝などを山で刈り取ったり拾い集めたりすることが日常で、きれいな里山が維持されていました。しかし、人の手が入らなくなった今は低木や笹、つる草が生い茂り、見通しの利かない場所が多くなって、本来はずっと奥の山にいるはずの野生動物たちが、集落近くに出没するのが当たり前のようになってしまいました。

カラマツ・アカマツ林に繁る下草

唐沢川を下って熊が集落内に出没（2012 年）

近年、マツノザイセンチュウという外来センチュウの寄生によりアカマツやクロマツに松枯れが発生し、その範囲が拡大しています。山形村では平成27年に初めて確認され、その後も山の木ばかりでなく、庭木や屋敷林、寺社林などにも影響が出始めました。

“松くい”による被害木

## 川

一級河川の三間沢川や唐沢川をはじめ、狭い山あいから流れ出る大小いくつかの河川は、松本市との境界の手前で1本に合流してその先へと流れ下っていきます。河岸には下水道の終末処理場「ウォーターパル」や一般廃棄物最終処分場「サンクスＢＢ」などの公共施設がありますが、定期的に河川の水質検査が実施され、下流域に対して適切な水管理が行われているところです。

一方で、橋の上から川の様子をのぞいてみると、空き缶やペットボトル、容器包装プラスチックなどのごみが目につきます。また、農業用のマルチが風に飛ばされて中洲に引っ掛かっている様子も見られます。

川は泣いている…

環境川柳

見下ろせば　渡る河川は　ゴミばかり

橋の上のスナフキン

## 生きもの

動物も植物も命あるものの全ては、やはり大自然の貴重な構成要素の一部です。気候や人工物の影響を受けやすいこうした小さな命のちょっとした様子の変化から、わたしたちは様々な異変の前兆を知ることができます。

山形村で見ることができる生物について取り上げた資料を探してみると、古く昭和55年刊行の「村誌やまがた」第1編第5章、第6章においてその多様な種類や特徴、生息地域などが紹介されています。しかし、それから長い年月が経過していますので、生態系にも大きな変化が見られます。

第六章　植物

はじめに

第1図　シダレザクラ

二　山形村の植物

(一)　低地の植物

(1)　路傍・田畑等人家周辺の植物

村誌やまがた

一般的に希少種と言われる貴重な生物について村には公式なデータはありませんが、このような生物たちの存在にもっと注意を払い、保存に努めなければなりません。

また、これとは反対に長い時間をかけて外国や他の地域から移入し、在来動植物の生育に悪影響を及ぼす「外来種」の繁殖が近年著しくなっています。特に目立つアレチウリは、河川敷や田畑の土手などを中心に、村内のいたるところで繁茂しています。

畑の土手を埋め尽くすアレチウリ

# 2. 暮らしの周辺＝生活の環境

## ごみの排出状況

一般廃棄物の分別収集が始まって、現在のような家庭ごみの処理体制が整備されてから30年近くが経ちました。この間、村は一貫して村民の皆さんに“ごみの減量”を呼びかけてきました。分別の推進と資源化技術の向上もあって、その成果が徐々に表れてきています。

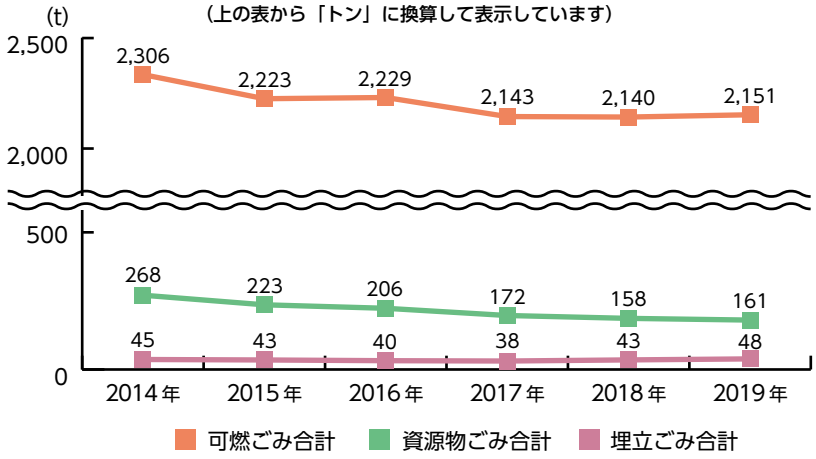
### 山形村のごみ排出量の推移

(単位：Kg)

| 種類別 | | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 可燃 | 家庭系可燃 | 1,282,540 | 1,286,760 | 1,304,650 | 1,310,560 | 1,323,700 | 1,346,600 |
| | 事業系可燃 | 1,023,080 | 936,840 | 924,390 | 832,250 | 816,940 | 804,340 |
| 破砕 | | 7,600 | 6,590 | 6,240 | 7,430 | 6,480 | 7,700 |
| 粗大 | | 19,730 | 17,450 | 20,390 | 32,200 | 25,850 | 24,670 |
| 資源物 | 容器包装プラ | 27,440 | 26,540 | 26,670 | 26,880 | 27,400 | 28,180 |
| | ペットボトル | 4,430 | 4,270 | 4,470 | 4,700 | 5,110 | 6,010 |
| | 金物類 | 27,350 | 29,160 | 22,380 | 19,040 | 16,310 | 15,250 |
| | 紙類 | 148,080 | 106,190 | 94,380 | 71,230 | 61,450 | 57,051 |
| | 布類 | 8,580 | 6,890 | 4,660 | 3,530 | 2,480 | 2,980 |
| | ビン類 | 43,870 | 43,230 | 47,920 | 42,470 | 42,140 | 37,640 |
| | 小型家電製品 | 8,550 | 6,520 | 5,963 | 3,660 | 3,550 | 13,890 |
| 埋立 | ガラス屑等 | 21,170 | 22,000 | 21,020 | 20,390 | 23,910 | 24,410 |
| | 家庭灰等 | 24,050 | 21,090 | 18,790 | 17,960 | 19,460 | 23,540 |
| その他（役所持込） | | 15,340 | 90,090 | 3,570 | 3,570 | 3,460 | 7,470 |
| 総合計量 | | 2,653,260 | 2,597,100 | 2,499,530 | 2,392,210 | 2,374,690 | 2,385,841 |
| 参考：年度末人口（人） | | (8,776) | (8,746) | (8,780) | (8,773) | (8,726) | (8,677) |

### 種類別の推移

（上の表から「トン」に換算して表示しています）




2014年と2019年の総量を比べると、軽トラックの積載量で**764台分**のごみが減ったことになります。

## 止まぬポイ捨て・不法投棄

交通量の多い幹線道路では、相変わらず空き缶やペットボトルの投げ捨てが目立ちます。たまたま村を通りかかる人の仕業なのでしょうか。モラルを欠いた軽率な行為です。

また、大池原や東原の畑地帯では、コンビニ弁当や飲み物の空容器、生ごみなどがレジ袋、買い物袋いっぱいに詰め込まれて捨てられるケースが増えてきました。

人通りの少ない山際の農地や道路端、林道には家電製品や古タイヤなど、大型の廃棄物が大量に投棄される非常に悪質な行為も散見されます。

清水高原の道路脇に投棄された大量のゴミ

幹線道路沿いには
空き缶やペットボトルが…

## 野焼き

自宅の庭や畑において、家庭ごみを燃やしたり、剪定した枝など度を越えた量の焚火をしたりする、いわゆる“野焼き”に対する苦情や通報も増えています。

環境川柳

ポイ捨ての　ゴミにつまずき　罰当たり

中大池のメイサ

ちょっと待て　ポイ捨てやめて　村うつくしく

ほおずき

# 2020 環境川柳

みなさんから寄せられた作品を紹介します。ご投句ありがとうございました。

・愛犬の　フンまで愛し　後始末
・普段から　まめな手入れが　山守る
上高地の風

・残飯の　積もり積もって　ゴミの山
ほおずき

・食品ロス　わが家に無縁な　その言葉
さすらいの食欲魔人

・縄文からの　古き歴史と濃き文化
豊かな農を　未来へつなげ
きよちゃ

・分別の　証　袋に　記名して
・この村は　住みやすい村　クマも住む
分別のある村人でありたい

・ふろしきで　作った手提げ　使う孫
・長芋を　贈り恩師に　喜ばれ
荻上憲治

・うまい蕎麦　山紫水明　あればこそ
・松本を　高所から見る　立場です
近所の物好き

・「もったいない」が　素敵に変わる　知恵袋
たかこ

・猛暑日に　しょびしょびしたもの　あぁいいね。
・ゼロカーボン　共に見る夢　語る夢
やっぱり俺は信州人

・犬のフン　ビニールぶくろ　忘れずに
・ゴミぶくろ　名前書くの　あたりまえ
はるちん

・どうする？　にっぽん
5次元から愛をこめて

・減らしたい　お腹の脂肪と　ゴミの量
ごっつぁん姉さん

・んな無茶な　「不測の事態を　予測せよ！」
過酷な至上命令

・道端の　ポイ捨て嘆く　道祖神
山灯火

# 第3章 環境保全施策の展開

これからの山形村の環境保全に対する取り組みの方針を、羅針盤の上の5つのステージに整理してお示しすることにします。

## Ⅰ 自然環境の保護

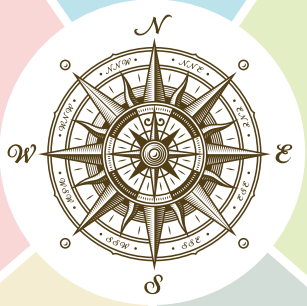
・健全で美しい里山の整備と維持
・水環境の保全
・生態系への意識の高揚

## Ⅱ 生活環境の向上

・ごみの減量と資源化の推進
・ポイ捨て、不法投棄の撲滅
・住環境の衛生管理

## Ⅲ 基幹産業「農」の姿

・優良農地の保全
・農地の荒廃化防止と再生
・農薬、農業資材の
　適正使用と適正処分




## Ⅳ 地球温暖化対策

・脱炭素社会実現への挑戦

## Ⅴ 環境を学ぶ、考える

・幅広い世代の環境保全学習

# 「持続可能」は世界の合言葉

### 飢餓をゼロ
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

### エネルギーをみんなに そしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネ ルギーへのアクセスを確保する

### つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

### 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

### 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

### 陸の豊かさも守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

### パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

**SDGs**（エスディジーズ）（Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標）
**の達成をめざして**

## 山形村のキーワードは

# 「ずく出して…」

Ⅰ～Ⅴの分野ごとに取り組む各施策。村民みんなでずく出していきましょう！

環境川柳

「須藤ガス？」　SDGs を　語る父

見たまんま猫マンマ

# Ⅰ.自然環境の保護

## ■健全で美しい里山の整備と維持

- 森林整備、緩衝帯整備事業による野生動物の出没抑止
- 国庫支出金を活用した森林経営管理制度の導入
- 林産物の需要拡大、利活用方法の研究
- 松くい被害の拡大抑止

## ■水環境の保全

- 住民参加による河川清掃

マイクロプラスチックによる海洋汚染が大きな問題となっています。海に流れ込む川の最上流域に暮らす者の責任として、下流にごみを流さないことを強く意識して定期的に河川清掃を実施します。

- 堆積物の浚渫（しゅんせつ）事業

河床に堆積した土砂や、そこに生えたヨシなどの植物の除去作業を河川管理者と協議のうえ、計画的に取り組みます。

## ■生態系保護への意識の高揚

- 身近な自然環境を愛する有志団体の保護育成。
- 外来種マップを作成し、村民参加による駆除活動を展開します。

長野県のアレチウリ駆除月間に合わせて村も駆除月間を設定し、一斉駆除作業を実施します。

とてもやっかいな「アレチウリ」

大切に残していきたい植物のひとつ「ササユリ」

## 村民みんながずくを出して取り組むこと

・年に２回実施する河川清掃に、ときどき参加してみよう。
・アレチウリの駆除月間には、一斉駆除に参加してみよう。

# Ⅱ.生活環境の向上

## ■ごみの減量と資源化の推進

### ・生ごみの水切り徹底、食物残渣等の有機肥料化の推進

生ごみ処理機・コンポスター・剪定枝粉砕機の購入補助を継続し、普及推進を図ります。

### ・ごみステーション利用におけるモラルとマナーの徹底

村民の皆さんがごみステーションを気持ちよく利用するために、正しい分別と、名前の記入を呼びかけています。

2019年度、2020年度と2年にわたって実施したごみ袋への記名状況調査では、記名率はいずれも7割強でした。自分が出したごみに対して責任を持つことを引き続き呼びかけ、記名率向上を目指します。

| | 2019年 | 2020年 | 2023年 |
|---|---|---|---|
| 調査したごみ袋の数 | 1,781個 | 2,223個 | |
| 名前が書かれていた数 | 1,277個 | 1,634個 | |
| 記名率 | 71.7% | 73.5% | ➡ 90.0%以上 |

### ・効率的な資源物回収体制の樹立

回収実績、コストの両面から現在のごみ収集体制を全般的に見直し、リサイクル可能な資源ごみを効率的に回収することに重点を置いて、焼却ごみの削減と資源化率の向上を目指します。

ごみ袋の記名状況調査

### ・食品ロスをなくすための啓発事業

### ・エコバッグ（マイバッグ）の普及促進事業

## ■ポイ捨て、不法投棄の撲滅

### ・多発場所の調査と公表、対策

### ・新たな注意看板の作成

収集ボックスに溢れる使用済み小型家電製品

## ■住環境の衛生管理、まち並み景観の美化

・春、秋の環境整備により地域の衛生環境を適切に維持しましょう。

・空き家が増加する傾向にある中、廃屋化しないよう所有者や関係者への啓発を強化します。

・問題案件に対しては関係者連携のもと、迅速な対処に努めます。

・地域で取り組む協働活動の活性化にを推進し“村民力”“地域力”の向上を応援します。

## ■一般廃棄物最終処分場サンクスBBの延命化

サンクスBBへの負荷軽減のため、家庭灰/ガラス屑等について、埋立て以外の適切な処分方法を研究し、新たな時代の最終処分を探ります。

## 村民みんながアイデアを出して取り組むこと

・生ごみの重量を減らすため、乾燥や水切りの工夫に努めよう。
・生ごみを有機堆肥に変えて、資源化することに努めよう。
・正しい分別、正しいごみ出しにより、減量と資源化に努めよう。
（ごみ袋には必ず名前を書きましょう。）
・食べ物は、残さず捨てず、作りすぎず・・・食品ロスをなくそう。
・雪かき、除草、環境整備・・・地域の課題は地域で話し合い協力し、みんなの力で解決しよう。

環境川柳

花いっぱい　生ゴミ堆肥で　美しく

のこ

# Ⅲ.基幹産業「農」の姿

多品目栽培の輪作体系により収穫期を分散させ、限られた土地で効率的に営まれる山形村の農業。田畑には年間を通じて常に豊かな緑が広がり、多彩な農作物の生育を見ることができます。村の美しい景観を形成する大切な要素の一つでもあります。

## ■優良農地の保全

高い生産力を支える肥沃な土壌を未来に引き継がなければなりません。

### 耕作土の亡失対策

ⅰ）風食による土壌飛散の抑止

麦類の播種をはじめ、有効な対策の研究と実践を継続します。

ⅱ）農作業による圃場外への土の持ち出し禁止

排水兼用道路などの農業基盤整備が進む一方で、その受益者である農業者には一層の注意と努力が求められます。

・トラクターの圃場内旋回
・道路に出た土の戻し作業（掃除）の徹底

排水路を兼ねた舗装道路

強い風で巻き上げられる大切な土

## ■農地の荒廃化防止と再生

ⅰ）維持的な管理方法の研究

離農者の農地を荒廃させないよう、常に耕作可能な状態で維持し、次の耕作者に引き渡す農地維持のための施策を探り、その仕組みの早期構築を目指します。

ⅱ）農地中間管理機構を介した担い手への農地集積の促進

ⅲ）村の単独補助により農地の流動化、荒廃農地の再生を支援

## ■農薬、農業資材の適正使用と適正処分

ⅰ）農薬の適正使用、適正処分に関する啓発事業の実施

ⅱ）廃棄資材の適正処分の徹底

マルチや資材の空容器が風で飛ばされないよう個人がしっかり管理し、集団回収等による確実な処分がなされるよう啓発、支援を行います。

ⅲ）生分解性資材使用の呼び掛け

JA が取り組む　不用農薬・農業用廃プラスチック回収

## 農業者みんなが ずく を出して取り組むこと

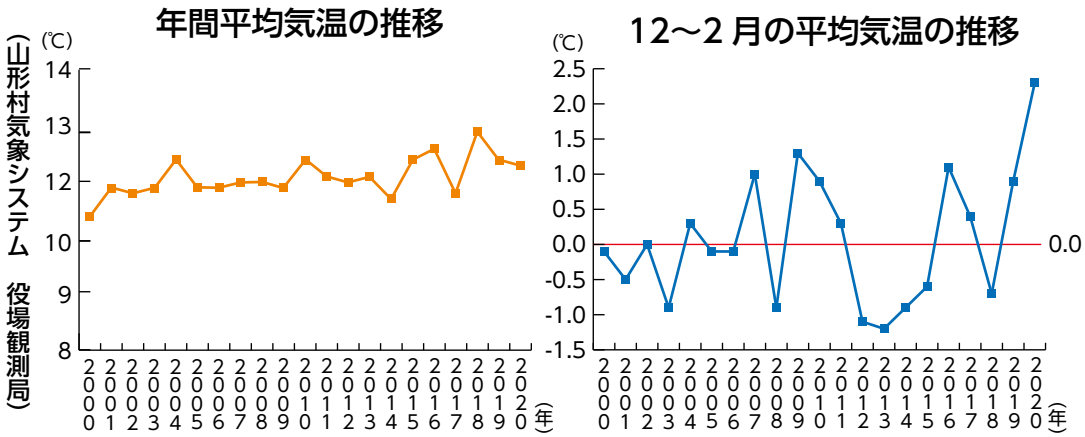
・トラクターのタイヤやロータリーに付着した土は道路に持ち出さない。持ち出した場合は必ず圃場に戻すことを徹底しよう。
・風食防止のための麦類の播種は、適期を逃さず実施しよう。
・使用済みの農薬・農業資材は速やかに片付け、適切に処分しよう。

環境川柳

スイカ畑　にらんで走る　酷暑かな

山灯火

# Ⅳ.地球温暖化対策




2000年以降の山形村の平均気温はおよそ11℃前後で推移しています。大きな変化ではありませんが、直近の5年ほどは以前に比べて若干高めとなっており、やはり上昇傾向にあることがうかがえます。また、冬期の12月～2月の期間に限定した平均気温では、ここ5年間のうち4年は氷点下に至っていません。

昭和 40 年代の校庭リンク　⬇は地下道

かつて小学校ではこの時期、校庭や田んぼに水を張り、分厚い氷の天然リンクでスケートの授業が行われました。十分な氷が張らずリンクができなくなったのが昭和 50 年代後半あたりのことですから、温暖化はかなり早い段階から兆候が表れていたということですね。

## ■脱炭素社会実現への挑戦

2020年、日本政府は今後2050年までに国内の温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという方針を打ち出しました。これに先立ち、長野県では「気候非常事態宣言」の発出に続いて、いち早く「長野県脱炭素社会づくり条例（通称：ゼロカーボン条例）」を制定し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みをスタートさせています。

「脱炭素」の主な手法は、今使われているいろいろなエネルギーを自然由来のものに切り替えることです。村では、村民が個人の努力でできる行動を後押しする施策の展開を進めます。

## ■住宅用太陽光発電設備の更なる普及促進

2020年、村内の全ての一般住宅を目視により調査したところ、11月現在、屋根や屋上に太陽光発電の設備が設置されている個人の住宅は439戸ありました。（複数の建物に設置されていても、同じ敷地内であれば1戸で数えています。アパートや事業所は含まれていません。）

また、太陽熱を利用する給湯設備が設置された住宅の数は144戸でした。

村では住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助を行っています。計画期間内の2023年度同時期にはおよそ1割増加の480戸以上となるよう引き続き普及促進を図ります。

| | 2020年 | 2023年 |
|---|---|---|
| 太陽光発電設備が設置された個人住宅の数 | 439戸 | 480戸 |
| 太陽熱利用による給湯設備が設置された個人住宅の数（参考） | 144戸 | |

※目視調査のため若干の誤差はありえます。

## ■エコカーの普及促進

これからは従来のガソリン・ディーゼル車から電気自動車（ＥＶ車）などのエコカーへの切り替えが急速に進むことが予想されます。今後国の施策の動向を注視しながら、村も積極的にＥＶ車の導入を図るとともに、個人がハイブリッド車や燃料電池自動車なども含めたエコカーの購入を進めるのに有効な支援、啓発の方法を研究します。

## ■家庭照明器具のLED化

更に、家庭でできる小さなエコ活動に照明器具のLED化があります。消費電力の少なさや耐久性といったメリットは、それほど目立つものではありませんが、家庭でのエネルギー対策の有力な一手となるでしょう。

## 村民みんなが ぎゃく を出して取り組むこと

・家庭では節電、省エネに努め、ムダな電気はこまめに消そう。
・自動車のムダなアイドリングをなくそう。寒い日も暖機運転は短めに。
・緑のカーテンや打ち水など、自然の力を借りた暑さ対策に取り組もう。

# V.環境を学ぶ、考える

## ■幅広い世代の環境保全学習

自ら考え、体験し、ずくを出して身につける「習慣」や「心持ち」の醸成をめざします。

**余談からですが…**

昔から長野県の子どもたちは横断歩道を渡るとき、停止したドライバーに頭を下げてあいさつをしてくれます。毎度グッとくる瞬間です。地味なことですが、これこそまさに世代を引き継ぎ習慣化されてきた「心のありよう」なのだと感じます。

環境を守る意識も同じこと。これから大変な未来を生きてゆかねばならないこの子どもたちに、人類が身勝手に乱してしまった地球環境の現状と、身近なことから改善する努力の大切さをいっしょうけんめい伝えて、当たり前の習慣に育てることが、わたしたち大人の責任でもあるのです。

### 様々な学びのシーン

**【児童/生徒】**

山形小学校
学校との協議研究の機会を設け、環境問題に対する子どもたちの関心を高める活動に取り組みます。

鉢盛中学校 → 朝日村、松本市と協力し、“この地域らしさ”を活かした活動の創設を探ります。
中学生は心も身体も大人と同じくらいに頼もしく、環境保全活動の強力な仲間になりますから…。

**【地　域】**
**【家　族】**
**【仲　間】**
行政だけでなく企業や大学などの協力も得て、様々な講座、研修、見学、実践の場を提供します。

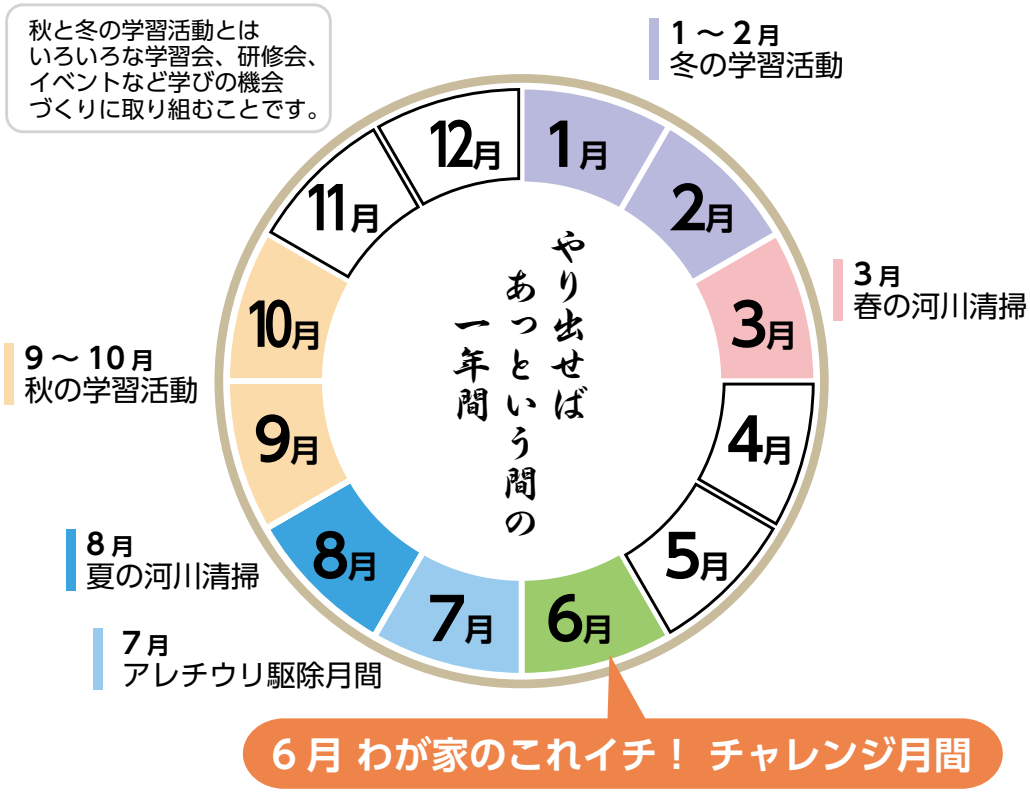
やまがた環境チャレンジカレンダーの年間スケジュールにより、幅広い環境学習活動を企画して、多くの村民の参加を募ります。

～学びと実践の日々～

# やまがた環境チャレンジカレンダー

山形村が行う環境活動のスケジュールを月別に設定し、村民のみなさんと共に取り組む活動をカレンダーにしました。今回の環境基本計画は、数値目標の達成よりも、“確かな行動”に重点をおいて進む計画です。

活動の予定をしっかりと行動に移し、それを継続することができるのか。３年間にわたる山形村の『チャレンジ（挑戦）』の形です。




**6月 わが家のこれイチ！ チャレンジ月間**

どんなことでも構いません。ご家庭や個人で環境保全やごみ減量に関する活動を考えて、1ヶ月間やり通してみませんか。

たとえば…

- 食べ残しゼロへの挑戦
- 超節電生活（電源オフ）への挑戦
- ノーマイカー通勤への挑戦
- 生ごみ完全堆肥化への挑戦
- 新聞の環境記事スクラップへの挑戦
- 猛暑日対策！打ち水のススメ
- ついでに禁酒・禁煙への挑戦

などなど

# 2020 環境川柳

みなさんから寄せられた作品を紹介します。ご投句ありがとうございました。

・断捨離と　捨てし山から　また拾う
・戸締りす　こもっつるしの　夫のあと
白猫

・環境美化　みんなで守って　健康長寿の村に
中大池のメイサ

・ゴミだらけ　こんな地球に　誰がした
怒りのネコパンチ

・山形は　イケメンも美女も　多い若い村
・春ぼりの　芋はうまいが　ねばりで消せよ土の塵
読子

・畑中へ　ふみ入れずに　ゴミ横目
・なぜできぬ　なぜゴミ捨てる　親みたい
ヒロ

・太陽光　時には災害　元となり
・マイボトル　持参で減らす　ペットゴミ
花々ばあば

・老齢に　新型コロナ　忖度か
・ポイ捨てを　思い直して　良心に
中嶋邦郷

・辻々で　コロナ通さぬ　道祖神
のこ

・ポイ捨ての　プラゴミ下る　マイクロ弾
・消せないの　あなたのゴミの　指紋まで
竹田の次郎

・虎刈りの　生垣だって　アートずら
愛しのショコラ

・偶(たま)さかの　給餌(きゅうじ)食る　野良の身も
　トイレと寝床　欲しいニャン
野良の本音

・捨てるより　次へとつなげて　リサイクル
エコ太郎

・カミ(神)がない　節水トイレで　ウン(運)がつき(尽き)
・夏のゴミ　秋冬ねかせ　春堆肥
厚顔の美壮年

・レジ袋　エコだと断る　え～子だね
座布団くれ代

# 第４章　山形村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

## 1. 基本的事項

### 計画の目的

山形村役場（この計画では全ての課・職員・施設など役場全体をいいます。）が行政業務を行うことで発生する温室効果ガスの排出量を削減し、地球温暖化の進行抑止につなげるため、様々な対策を講じ、率先して脱炭素社会の早期実現を目指す指針として、「山形村地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕」を策定します。

### 計画の位置づけと計画期間

この計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」（以下この計画において「法律」といいます。）に基づいて地方公共団体が策定する計画です。2015年度（平成27年度）に策定した第3次山形村環境基本計画に内包された同実行計画を引き継ぎ、新たに策定する第4次山形村環境基本計画に組み入れて、これまでの成果の振り返りと今後の取り組みの目標を記載します。

計画期間は環境基本計画と同じ2021年度～2023年度の3年間とします。

## 計画の対象

この計画は、山形村役場が直接的に管理運営する全事業拠点及び附帯施設等において行われる事務事業を対象の範囲として策定します。（第1表参照）

また、温室効果ガスについては、法律に規定された7種類のうち、その性質上地方行政業務の実施に最も関連が深く、排出割合の多くを占める二酸化炭素（以下「$CO_2$」といいます。）に限定します。

**【第１表】事業拠点及び附帯施設一覧**

| | |
|---|---|
| 役場庁舎 | 保健福祉センターいちいの里 |
| エポック館 | 農業者トレーニングセンター |
| 消防施設 | ミラ・フード館 |
| なろう原公園・各公衆トイレ | ふれあいドーム |
| 子育て支援センターすくすく | テニスコート |
| 保育園 | Ｂ＆Ｇ海洋センター |
| ふれあい児童館 | 小学校（校舎及びグラウンド） |
| 上水道施設 | 清水高原文化交流施設あららぎの庄 |
| 簡易水道施設 | ふるさと伝承館 |
| 下水道施設（ウォーターパル他） | 一般廃棄物最終処分場サンクスＢＢ |

# 2. $CO_2$排出の現状

## $CO_2$排出量の比較

$CO_2$排出量の算定は、第1表に掲げた公共施設及び関連施設で行う全事務事業において消費される年間のエネルギー（電気、ＬＰガス、ガソリン等）の使用量合計を各事業の「活動量」とし、これに$CO_2$排出係数を乗じて行います。

前回計画では目標年度を2020年度（令和2年度）に設定し、基準年度（2014年度）との比較で5.0パーセントの$CO_2$削減を掲げましたが、ここでは新型コロナウイルスの感染拡大による社会的な影響が出る前の2019年度（令和元年度）の実績により比較を行います。

**【第２表】エネルギー別の$CO_2$排出量の比較**

| エネルギー別 | 2014 年度（H26 年度） | 2019 年度（R 元年度） | 差引 | 変動率 |
|---|---|---|---|---|
| 電　気 | 1,264 t | 1,110 t | ▲ 154 t | ▲ 12.2% |
| 灯　油 | 352 t | 370 t | 18 t | 5.1% |
| ガソリン | 27 t | 27 t | 0 t | 0.0% |
| 軽　油 | 24 t | 32 t | 8 t | 33.3% |
| ＬＰガス | 47 t | 47 t | 0 t | 0.0% |
| 合　計 | 1,714 t | 1,586 t | ▲ 128 t | ▲ 7.5% |

**【第３表】主な施設別の$CO_2$排出量の比較**

| 施設名 | 2014 年度（H26 年度） | 2019 年度（R 元年度） | 差引 | 変動率 |
|---|---|---|---|---|
| 役場庁舎 | 118 t | 95 t | ▲ 23 t | ▲ 20.0% |
| エポック館 | 38 t | 32 t | ▲ 6 t | ▲ 15.8% |
| 子育て支援センター | 27 t | 24 t | ▲ 3 t | ▲ 11.1% |
| 保育園 | 110 t | 114 t | 4 t | 3.6% |
| ふれあい児童館 | 53 t | 34 t | ▲ 19 t | ▲ 35.8% |
| 保健福祉センター | 483 t | 445 t | ▲ 39 t | ▲ 8.1% |
| トレーニングセンター | 107 t | 113 t | 6 t | 5.6% |
| ミラ・フード館 | 91 t | 82 t | ▲ 9 t | ▲ 9.9% |
| ふれあいドーム | 20 t | 18 t | ▲ 2 t | ▲ 10% |
| 小学校 | 145 t | 132 t | ▲ 13 t | ▲ 9% |
| 上水道施設 | 54 t | 49 t | ▲ 5 t | ▲ 9.3% |
| 下水道施設 | 365 t | 339 t | ▲ 26 t | ▲ 7.1% |
| 車輌燃料 | 51 t | 57 t | 6 t | 11.8% |
| 全施設の合計 | 1,714 t | 1,586 t | ▲ 128 t | ▲ 7.5% |

※赤字は令和４年３月に数値を訂正しました。

結果は、2019年度実績では基準年度との比較で、7.5パーセントの削減が実現しました。第２表エネルギー別データから、$CO_2$の全排出量に占める排出原因の割合は、「電気」が他に比べて圧倒的に高くなっていて、$CO_2$削減のポイントは「いかにして電力使用量を抑えるか」にあることがわかります。

第３表施設別データでは、役場庁舎、ふれあい児童館の数値が大幅に下がっています。いずれも照明器具をLEDに切り替えたことによる効果が考えられます。また、下水道施設も終末処理場ウォーターパルの老朽化した旧型の汚泥処理設備を高性能、高効率型の機械に交換したことで使用電力が格段に減少し、$CO_2$の削減につながりました。

# 3. $CO_2$の削減目標

## 目標年度の設定

排出量の計算は、1年間のエネルギー使用量実績を積み上げるため、基準年度を2019年度、目標年度を2022年度と計画期間より1年前に設定し、その成果をもって計画最終年の2023年度には次期計画の策定に入ります。

## 目標値の設定

新型コロナウイルス感染拡大により、公共施設の利用や従来の行政業務の内容を制限せざるを得ない状況の下で、個別の活動量を細かく積み上げて目標値とすることは適切な手法とは言えません。したがって職員の行動量や実施事業の量に左右されやすい「燃料」は現状維持とし、施設管理での対策に成果が期待できる「電力使用」による排出量のみを5.0パーセント削減することで、全体の削減目標をマイナス3.5パーセントに設定します。

**【第４表】エネルギー別の $CO_2$ 排出量の削減目標**

| エネルギー別 | 2019 年度（令和元年度） | 削減率 | 2022 年度（令和 4 年度） |
|---|---|---|---|
| 電　気 | 1,110 t | ▲ 5.0% | 1,055 t |
| 灯　油 | 370 t | 0.0% | 370 t |
| ガソリン | 27 t | 0.0% | 27 t |
| 軽　油 | 32 t | 0.0% | 32 t |
| ＬＰガス | 47 t | 0.0% | 47 t |
| 合　計 | 1,586 t | ▲ 3.5% | 1,530 t |

※赤字は令和４年３月に数値を訂正しました。

| 目　標 | 令和４年度末までに $CO_2$ 排出量を今より 3.5%削減します。 |
|---|---|

# 4. $CO_2$の削減に向け、ずくを惜しまない取り組み

地方行政の実施拠点である山形村役場が、脱炭素社会の実現に向け村を挙げて行う取り組みにリーダーシップを発揮してゆくには、今後の財政負担への影響に十分留意しつつ、まずは自ら積極的な行動を起こすことが重要です。

2050年に温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするという国と長野県の政策を共に進めるため、施設の改修・整備を主とするハード面と、職員がずくを惜しまず、日常業務の中で省エネ・省資源を心掛けるソフト面の両面での取り組みを実践して目標の具現化を図ります。

## 施設整備等に向けた準備

村が、2020 年度に環境省の国庫補助事業を導入して実施した「CO2 削減ポテンシャル診断事業」の診断結果をもとに、主な公共施設の CO2 削減対策を検討し、その実現に向けた実施計画を作成します。

CO2削減ポテンシャル診断事業
CO2削減の可能性を探るため、専門家が施設の電力使用状況を一定期間測定し、エネルギーロスの調査や、改善策・効率的な管理の助言を行う事業。本村では役場庁舎、トレーニングセンター、保健福祉センターの３施設で実施。

| 実施項目 | 具体的な取り組み内容 |
|---|---|
| 照明の LED 化 | 実施計画（施設改修計画）の作成 |
| 空調設備の高効率化 | |
| 太陽光発電による自給電力の使用 | |
| 公用車のエコカーへの切り替え | 実施計画（車両更新計画）の作成 |
| エネルギー管理等〔現有施設 / 設備の適切な運転と維持管理〕 | 専門機関のアドバイスを受け、職員の知識と技術の向上を図る。 |

## 職員が「ずく」を惜しまず日常業務で心掛ける省エネ・省資源策

| 実施項目 | 具体的な取り組み内容 |
|---|---|
| カラーコピー（印刷）の使用抑制 | “わかりやすさ”に注意した上で、会議資料のカラー印刷は最小限とする。 |
| 両面印刷、裏紙使用 | 使用済みペーパーの裏面再利用や両面印刷による紙の節約。 |
| 情報・資料のペーパーレス化 | 印刷物でなくても用を成すものの活用を進める。 |
| 冷暖房機器の使用時間、運転設定温度の徹底 | 施設の機能、役割、目的を再考した上で、部署ごとに基準を設け運用を徹底する。 |
| 電化製品の集約化 | 給湯ポット、加湿器の数や配置の見直し。 |
| 節電、浪費防止対策 | こまめな消灯・電源オフ、換気設備の適正使用など、小さな努力の積み重ね。<br>各課に「月替わり節電隊長」を配置。 |

※行財政課題庁内検討委員会の報告を反映しました

ずく を惜しまぬ行動が きっと事態をかえてゆく

# 「ずくは地球を救う」

令和３年３月

**発行　山形村**
〒390-1392 長野県東筑摩郡山形村 2030 番地 1
電話　0263-98-3111
村ホームページ　https://www.vill.yamagata.nagano.jp
この環境基本計画は村のホームページで見ることができます。